

事業名

地域の宝を育てる応援団 -SAKURA ネットワーク-

目 標

～ 15歳の春に豊かな花を咲かせるための協働～

1. 取組の視点

全ての幼児・児童・生徒に15年間の連続した「学び」を保障するために、地域の力を活用しながら学校園の教育活動を支援します。また、学校園を核とした地域コミュニティの活性化により、地域の教育力を高め、育ちあいのできる地域になるように取組を進めます。

2. 取組の概要

【SAKURA夢Festa 3rd】

平成24年12月1日(土)に都南中学校区の11学校園の園児・児童・生徒とその保護者が集まり、学校支援ボランティアの手による地域合同行事を開催しました。この日は、公開授業・先生方のステージも実施されたため、例年にも増して多くの方の参加がありました。



オープニングセレモニーの消防音楽隊の演奏とカラーガード隊の演技・音楽教員の独唱から始まり、午

後は、都南中学校吹奏楽部顧問の演奏と吹奏楽部の演奏会が行われました。



体育館前での模擬店には、昨年までの社会教育による地域教育力強化プロジェクトで培ったノウハウを生かし、中学生有志が復興支援のための「カレーとナン」を出店し、その収益を支援団体へ寄付することができました。

**【地域みんなの美術館「都南の森」】**

地域住民の手による芸術作品（絵画・書・ちぎり絵・陶芸・彫刻・写真など）を募集展示し、生徒・保護者そして地域住民に鑑賞していただいています。今年はフェスタに合わせて、地域の5幼



稚園5小学校の作品展示も開催しました。



展示内容の企画から作品募集、そして開催中のお世話まで、すべて「楽芸員（学校支援ボランティア）」による運営がなされています。

中学校の昇降口を活用したフロアスペースをギャラリーとして開放してきましたが、来年度からは、コミュニティールーム（仮称）を活用して常設展示も計画されており、よりよい学校づくりを進めるための特色のある取組となっています。

3. 成果と課題

校区の5幼稚園・5小学校・中学校の各学校園と地域との協働により、子どもたちの「15年間の連続した学びの保障」を図り、自分の生まれ育った地域を誇りに感じ、地域を愛し、地域の役に立てる人間の育成を目標に支援活動を進めています。今後も、「育ち合いのある地域コミュニティ」の核としての学校園の存在を地域全体で認識し、家庭や地域の教育力を高めていく取組の充実と、「協働の営み」の要となり、各校園間の連携や地域のボランティアと学校園との橋渡し役として有機的に機能することをめざします。

事業名

地域に開き、地域と共につくる学校

目 標

学び合い、高め合う学級集団を礎とした「新しい学びのスタイル」の定着と、基本的生活習慣の確立と体力向上および規範意識の向上をめざす。

1. 取組の視点

グループ学習を多く取り入れた学習を意識した授業の展開をベースに、学び合いができる集団の形成をめざします。学習意欲・規範意識の向上のために、教員の指導力向上を図るため、グループ学習での指導法の研修・研究授業に取り組みました。

また、児童・生徒の9年間の連続した学びを保障するため、学力向上推進委員会を中心に小中の連携を進めました。

学校運営協議会・地域教育協議会との連携を深め、学校に地域の力を導入するとともに、保護者・地域の教育力の向上を図りました。

2. 取組の概要

- ① 研究授業・公開授業の充実
- ② 生徒と地域の共同作業の実践
- ③ 「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート」を活用し、親和的な集団づくり
- ④ 「中学校区学力向上推進委員会」を中心にした小中連続した支援の確立



- ⑤ 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の委員との実践的な交流会の実施
- ⑥ 地域教育協議会（SAKURA ネットワーク）の活性化
SAKURA ネットワークとコミュニティ・スクール委員会との連携を強化することにより、学習環

境整備や学校行事の運営において支援を受けることが増えました。



昨年度取り組んだ社会教育による地域教育力強化プロジェクトで、生徒会を中心に地域の食材を使った「カレーとなん」の開発の経験を生かし、生徒有志が取り組んだ、復興支援のための「カレーとなん」の模擬店を SAKURA 夢フェスタで出店することができ、その収益金を復興支援に寄付できました。

学校運営協議会ともより実践的に、職員研修に参加いただくことが計画的に実施することができました。

3. 成果と課題

計画的な研修や交流をおこなうことができた半面、系統だった横のつながりが十分に見えてこなかったり、具体的な実践に結びつけることが難しかったりした場合もありました。今後より実践力を培えるような研修・研究が必要です。

多くの支援を地域からいただいているが、学校が地域に返していると考えていることが、十分には地域に伝わってなく、形だけの取組になってしまっている現状も見えてきました。

その為には、開設準備の終わったコミュニティールーム（仮称）活用も含め、中学校から発信で、地域・学校双方向で見える支援のあり方を探っていく必要があります。

事業名

「子ども力」育成プロジェクト

目 標

関わり合いを通して豊かな学びを育む

1. 取組の視点

本校では、これまでの学力向上の取組を継承しつつ、言語活動に力を入れることで、より主体的に学ぶ態度を育成することを目指してきました。

また、自己肯定感の低さが目立つ調査結果を踏まえ、自尊感情を高めるため「子ども力」の育成をテーマに活動を進めてきました。「子ども力」とは、未来に向けての夢やあこがれを持って、その子なりに発揮できる力です。そこで、「多くの人たちとの関わり合いを通して、学校や地域の生活や活動の中で育てられるような事業を通して、自分に自信を持ち、将来に向けての希望をもって生き活きと活動できる子を育てていきたい。」という視点で取組を進めました。



2. 取組の概要

地域・学校が協働し、子どもたちが多くの人たちと関わり合いをもち「熱中する力」「好奇心を抱く力」の育成を進めるため以下の事業を計画し、地域とともに活動を進めました。

(1) 東市まるごと子ども合宿や子どもフェスタ・放課後子ども教室の開催

本校では、奈良教育大学の学生ボランティアと地域の協働で、TNP（東市日本一プロジェクト）を立ち上げ、放課後子ども教室、通学合宿の事業を進めました。通学合宿では、一週間にわたって地域の施設に泊まり、共同で生活や学習を行い学校に通いました。また、放課後子ども教室も、学習と集団活動をメインに、毎回工夫されたプログラムで活動を進めています。「東市まるごと子どもフェスタ」

は、子どもたちの健全育成を目指し、校区社会福祉協議会を中心にPTAや地域の団体が参加し、10月21日に開催しました。日曜参観と同時開催としたことで、多くの児童保護者が参加し、盛大なフェスタになりました。

(2) 校内環境整備計画

地域の方々の協力により、校地内の木々の剪定や花壇の整備を進め「花いっぱい運動」を展開していただきました。また今年度は、体育館のアリーナの壁の破損箇所や塗装の汚れも目立ってきましたので、ペンキ塗りの協力をお願いしました。体育館が、明るくなり、真新しくなりました。

(3) 学力向上に向けた授業作り研修

学力向上を目指し、言語活動の充実を図る研修、キャリア教育の研修などを深め「学校公開」を通じ地域の方々へ広めました。

(4) 教育活動への地域ボランティアの参加

11月に「絵本のひろば」を開催し、絵本ボランティアさんと共に楽しく読書の時間を過ごしました。また、万年青年クラブはじめ、地域のお年寄りの皆さんが「昔遊びの名人さん」として、コマ回しや竹馬など遊びを子どもたちに教えて下さいました。

3. 成果と課題

東市小学校運営委員会において話し合いを持ち、学校と地域との連携・協働による事業計画を立て実施し、数多くの計画に地域の方々が参画していただきました。今後は、事業の広報活動の展開や人材バンクの作成を考え、より多くの方々に参加を呼び掛けていく必要があると考えます。



事業名

今日が楽しくて、明日が待ち遠しい学校

目 標

楽しそう（予感）楽しい（体感）楽しかった（実感）という連続性のある教育活動を地域とともに構築し、自尊感情の醸成を図る。

1. 取組の視点

本校が掲げる理想の学校像の達成には、楽しそう（予感）楽しい（体感）楽しかった（実感）の連続性のある教育活動の展開が不可欠であると考えます。そこで、本校では「楽しい」を『楽楽しい（たのたのしい）』と『苦楽しい（くるたのしい）』の二つに分類できると考えました。特に後者の感情は、他者との良好な関係性において育つものであると定義しました。幸い、本校区には学校を支援しようという志をお持ちの住民が多いことから、地域住民とのかかわりを中心とした教育活動を進めることとしました。

2. 取組の概要

本校では、すでにこれまで事業を通して、地域住民や保護者ボランティアが協働して子育て支援や学校支援を行う風土を備え、地域の会合などで、折に触れ『子どもは辰市の宝』であると話題にのぼります。このような住民意識を背景に、これまで継続的に実施されてきた事業を大切にしながら、学校・地域・保護者が思い描く理想の子ども像に向けて歩を同じくしました。

**【教室のペンキ塗り】**

取組は、子どもの命を大切にすること、教育環境（ハード面）の改善、学習への支援の三つに大別し実施しました。

特に今年度は、教育環境の改善と学習支援に関して重点的に取り組みました。まず、学習発表会

では照明機器を効果的に使用し、日ごろの学習の成果の集大成を保護者・地域の方に参観していただき、参加者の方から好評を得ました。また、植栽活動やペンキ塗りについては、これまで同様に児童のボランティアもよびかけ続けたところ、参加者が増え、児童と保護者・地域の方が声を掛け合いながら共に活動する姿が多くみられるようになりました。

3. 成果と課題

児童・保護者・地域の方の積極的な参加は、成果として、教育活動が円滑に且つ効率的に展開できたことだけに止まらず、植栽や掲示物の作成を一緒にするなど、ボランティア・児童相互に活力がみなぎり、積極性が育まれたように思われます。2月末には、地域の方々に1年間のお礼をしようということで、「ありがとう集会」を実施しました。児童手作りの品が、各ボランティアの手に渡り、これまで以上に心の交流が図られたように思えます。

課題として子どもの命を大切にする取組については、年度末から次年度の登録を依頼しています。年度当初から円滑にスタートできるようにするためには、年度末の段階での綿密な準備・打ち合わせが重要であり、強く意識して準備していきたいです。

**【昔遊び体験】**

事業名

やさしく、かしこく、力もちの明治っ子

目 標

”花・おはなし・元気” いっぱいの学校で「学力(算数、外国語活動等)・読書意欲・体力の向上」を目指す。

1. 取組の視点

地域の方・教職員・児童が「花いっぱい運動」をはじめとする諸活動に取り組み、潤いのある学校環境の整備に努め、「学力(算数、外国語活動等)・読書意欲・体力の向上」を目指してきました。

(1) 児童主体の図書館運営

学校図書のデータベース化(22 年秋)により、児童主体の管理・運営が円滑に実施できつつあり、児童の読書意欲向上にも効果的です。

(2) 学力向上(算数、外国語活動等)の取組

基本的な教材を購入したり自作したりして学習環境を整備しつつ、それらを活用した日常的な指導力向上に繋がる研修等に取り組みます。

(3) 体育や外遊びの充実による体力向上

スポーツテストの結果により運動好きだが、持久力など体力面で課題が多い実態から、発達段階に応じた継続的な運動を工夫したり、必要な器具を準備したりして体力向上に繋がります。

2. 取組の概要

花いっぱいの学校

今年度も地域の方や教職員、児童が主体的に環境整備に関わっていくため、「花いっぱいの学校」を目指して取り組んできました。児童が集中して学習に取り組むためには、落ち着いた潤いのある学校環境の整備を、より一層充実させなければなりません。

おはなし いっぱいの学校

日常的に蔵書の計画的な整理作業を行い、教員の指導の下、パソコンでの管理(貸し出し、読書傾向把握等)を進め、児童も操作できるようになってきました。



また、地域の方を講師にした第1・3月曜日に行う「おはなしの会」や低学年での「読み聞かせ」(毎月2回)は、児童の聞く力(姿勢)や想像力を高め、「次は、どんな話が聞けるのかな。」という読書意欲の向上に繋がっています。さらに、地域の方と定期的にふれあうことで、コミュニケーション力や人に優しい心の育成も期待できます。今後も、明治っ子の心の基盤づくりに努めていきます。

元気いっぱいの学校

地域の方と共に、毎年おこなっている環境整備作業では、運動場の整備を行うことで、体力づくりの基盤となっています。また、十分に用意されたドッジボール等は学習や外遊びで活用しています。



3. 成果と課題

- 「学力(算数、外国語活動等)・読書意欲・体力の向上」の計画を約9割実施できました。
- 地域力(人、物、行事等)の有効活用を工夫することで、地域とのつながりをより一層深めるため、ハード・ソフトを一層充実させたい。

事業名

地域とスクラム、学び育つ帯解アクション

目 標

地域と連携し、21世紀を自主的・創造的に拓いていく**心身ともにたくましい帯解っ子を育成する。****1. 取組の視点**

地域の方々の学校への感心も高く、学校教育に対して協力的な方が多数おられます。学習活動の中に地域学習を組み込み、米・野菜・花などの栽培活動や平和・人権・福祉などの聞き取り学習を通して、多くのことを学んでいます。

地域の方々をゲストティーチャーとして招き、地域について色々なことを学び、思いやりのある豊かな心を持つ帯解っ子を育成したいです。

豊かな思いやりのある児童を育てるために、いちご・野菜・米・花を学級園・借り上げた田や畑で栽培し、作り育てる苦労や収穫の喜びを体験させます。また園児と共に、秋のフェスティバルや校章の水仙植えなどをして交流を深めています。

2. 取組の概要

本校区には学校教育に対して協力的で、児童が地域の宝と考えるくださる方々がたくさんおられます。学習活動の中に聞き取り学習を組み込み、地域の方々をゲストティーチャーとして招き、地域について色々なことを学び、帯解文化の花を児童の心に咲かせていきたいと考えています。

目標達成のために、地域の人との体験・交流学習に取り組んできました。敬老会や一人暮らしの高齢者の方に花の苗をプレゼントしました。また戦争体験・盲導犬・車椅子・在日外国人の方など様々な方をゲストティーチャーに招き、苦労や願いを

聞きました。そして、1・2年の児童は色々なコーナーに分かれて、万年青年クラブの方々から昔の遊びを教えていただき、昔遊びの技を体験しました。



また毎年、社会福祉協議会のお世話で餅つき大会を開いてもらっています。千本杵で餅をつき、みかんやお茶餅をおいしく頂いて児童との交流も深まりました。栽培学習では「今まで野菜が嫌いだったのに、学校で作った野菜は食べています。良い経験ですね。」という保護者の声も聞かれました。米や野菜を育てるのは、食育教育の一環としての成果がありました。また、一人一鉢運動で花や野菜を育てることで、しっかり観察して生き物を大切に思う心が育ち、豊かな感性を育てるのに大いに役立ちました。

3. 成果と課題

地域の方との様々な体験・交流活動は、児童にとって知見と多くの人とのつながりを広げ、豊かな感性を育てることができました。また栽培学習を通して、花や野菜をしっかり観察して大切に思う心が育ってきました。芽が出たことを楽しみ、花が咲いたことを素直に喜べる感性を育てています。教育活動の様々な場面で、地域の方々に支えられながら児童は育っています。このように学校だけではできない取組に参加や協力していただくことで、児童の学びはさらに深まります。今後も地域の方々の気持ちに応え、前向きに実践していきたいです。



事業名 **輝け 精華っ子****目 標** **基礎学力の充実とさまざまな出会いや体験を通して、仲間を大切にし、地域を愛する豊かな心を育てる****1. 取組の視点**

精華小学校は、全校児童15人の小規模校です。日頃から学校生活のあらゆる場面で縦割り活動を取り入れ、異年齢の集団の中で人間関係を築く取り組みをしています。学校行事、児童会活動などで自分の意見を述べる場、他校と交流をする場、地域の方々にいろいろな事を教えていただく場など、さまざまな体験ができるよう計画しました。

その中でコミュニケーション力や自己表現力を育てるとともに、多くの人々との出会いを通して、仲間を大切にし、地域を愛する豊かな心を育てていきたいと考えました。

2. 取組の概要

7月には、書店の方に来ていただき、『本に親しむ会』を開きました。たくさんの本の中から児童が興味を持った本を選び、図書室で楽しく読むことで、読書量の増加に繋げることができました。

11月上旬には、校区にお住まいの世界的に有名なオペラの指揮者の方にお世話になり、オペラ歌手への公開稽古を見学しました。その後、本校児童への歌唱指導をいただき、校内音楽会への意欲向上に生かすことができました。



11月中旬には、恒例の干柿作りをしました。地域の万年青年クラブの方々にナイフの使い方や柿の皮のむき方を教えていただき、一緒に約5000個の皮をむきました。むいた柿を10個ず

つ串に刺して、各教室の窓の外に干し、12月中旬に、精華地区の全戸に子どもの手紙と共に配りました。今年は、雨の日が続いたため、カビが生えないか、腐らないかをずっと心配しましたが、本当に良い出来映えに、地域の方々に喜んでもらいました。



2月には全校お茶会を地域でお世話になった方々を招待して開きました。日本の伝統的なお茶を通して、「お茶の心」を地域におられる茶道の先生方に教えていただきました。午後は教えていただいた作法で、5年生が点てたお茶を下級生やお世話になった先生方や職員の方々に味わってもらいました。

**3. 成果と課題**

地域の方々にたくさんのことを教えていただく中で、地域のよさに気づき、自然や伝統を大切に守っていこうとする気持ちが強く感じられるようになってきました。出会いを通して、自分の思いを自分の言葉で伝えることができるようになってきています。今後もさまざまな体験を通して、児童の豊かな心を育てる取組を続けたいと思います。また、行事の一部の企画・立案・運営を児童に任せるなどして、主体性を高め、生きる力を育てる取組を行っていききたいと考えています。

事業名

地域とともに、いきいきかがやく、東市の星

目 標

地域の方々とのふれあいの中で、進んで活動し、たくましく生きる力を育む

1. 取組の視点

本園は、園児11名という小規模園で家庭的な雰囲気です。教師一丸となり幼児一人一人に応じたきめ細かな保育に努め、子どもたちは元気いっぱいにのびのびと園生活を送っています。しかし、人間関係の深まりがとりにくい状況にあるのでコミュニケーション力が弱く、多人数に圧倒される場面も見られます。地域の方々や近隣園、小学校、未就園児とのふれあいを通して、心豊かで強くたくましく生きる力を育むようにしました。

2. 取組の概要

①地域の方々との交流

地域行事（ふれあいサロン・東市夏祭り・東市子どもまるごとフェスタ・敬老のつどい・ふれあい人権フェスタなど）に積極的に参加し、地域の方々から優しく愛情をもって受け入れていただき心に残る交流ができました。園行事（七夕集



会・運動会・親子運動遊び・園内作品展・もちつき大会・茶道教室・生活発表会・ひな祭集会

など）には地域の力を貸していただき、子どもたちにとって楽しい学びの場となりました。地域の協力を得て園内環境整備や美化活動に取り組み、安全で美しい幼稚園として高い評価を得ています。草引き作業後の休憩は楽しい憩いの時間です。

地域の方々との心温まるふれあいの場を多くもつことができ、子どもたちは心に残る感動体験をしました。2月末には音楽会を開催し、お世話になった地域の方々や交流した5年生も招待して、感謝の気持ちを伝えることができました。

②未就園児との交流

地域における子育て支援の場として、未就園児の親子登園「ひよこ組ふれあい日」を実施してい

ます。地域の方々の支援のもと、毎月1回、在園児との遊びや地域の方による絵本読み聞かせ・手



遊び・園庭開放などで地域の開かれた幼稚園として、地域の子育ての充実を図りました。

「カプラで遊ぼう

会」「親子体操遊び会」「子育て講演会」も行い、在園児・ひよこ組の親子で楽しい充実した取組ができました。

③近隣園（帯解幼稚園・精華幼稚園）との交流

秋の遠足や学期に1回の交流会を実施、11月



には正暦寺に行き、地域の方の協力で散策や落ち葉・木の実拾い、紅葉を楽しみました。自然の中で気持ちが開放され、他園の

友達や先生と親しみをもってかかわり一緒に遊ぶ姿が見られました。

3. 成果と課題

地域の方々とのふれあいを通して、地域への親しみが深まり地域の良さにも気づくことができました。地域の方々に支えられているという安心感や温かな思いを感じ、子どもたちは感謝の気持ちをもつことができました。いろいろな体験を通して進んで挨拶したり思いを伝えるようになり、たくましく生きる力を育むことができました。

近隣園との交流を通して、自園ではできない大人数での集団遊びや様々な体験ができました。今後も、子どもたちが自己発揮できる地域環境を生かした保育内容の工夫を考えていきたいです。

事業名

笑顔いっぱいの幼稚園

目標

親子の愛着形成を確かなものにし、心豊かな幼児の育成を目指す

1. 取組の視点

自然環境に恵まれた地域ですが、核家族化が進む昨今、自然とふれあうことや、地域の人々との交流などが少なくなっています。そこで、親子ともに地域の人やゲストティーチャーとの活動、また、親子活動を通して親子愛着形成の確立を図り、いろいろな人達とのかかわりの中で、心動かされる体験を積み重ね、幼児の心が豊かに育つことを願い本事業に取り組みました。

2. 取組の概要

みんながつながる環境づくりとして、年少組の親子活動では“フォトフレームづくり”を行い、子どもの成長過程を残せるようにしました。年長組の“絵本づくり”では

親子で楽しく会話しながら世界で一つの絵本を作り上げ、作品は園内作品展に展



示しました。また、年少、年長共通の親子活動として、各学級月1回“親子絵本の日”や、年3回“お話の会”を行ったり、季節毎に花の苗や球根植えを行ったりしました。こうした活動を重ねることで、親子同士親しく交流する姿が見られるようになりました。11月の土曜参観では年少はカードを使った仲間集め、年長は文字言葉集めを行いました。父親や兄弟姉妹も参加し、家族全員でそれぞれの制作に取り組んでいる姿が見られました。こうした親子活動は未就園児親子登園『ひよこ組』対象においても

実施し、12月には人形劇を1月にはお話の会を、在園児と一緒に鑑賞することで、



未就園児親子の園生活への期待も一層膨らみました。

地域の方との交流では、地域の民生児童委員の方との交流を『ランラン広場』として年間計画に位置づけ行っています。今年度は保護者との交流の機会として、保護者地域別懇談会に民生児童委員の方の参加のもと、2回実施することができました。

また、人とのかかわりの体験はマナーの育成・向上や、幼児の豊かな心を育むための基盤づくりとなるとの考えから、身体を動かす心地よさを感じるとともに、集団の規律や友達と気持ちや力を

合わせてひとつのことをやり遂げる充実感や大切さを感じる活動としてマーチングを保育に取り入れ、大きな成果は運動会で披露し、感激と感動を与えました。



3. 成果と課題

成果として保護者対象のアンケートから『園の行事や活動を楽しみにしている』との項目の集計結果においては、昨年と同様に98パーセントの家庭から、「そう思う」という回答を得ました。

また、地域の方々の幼稚園教育に対する理解が一層深まり、地域の幼稚園として強い支援をいただきました。課題として、親子活動の意義を理解していても、参加することを負担に感じている保護者の姿があります。進んで参加できる活動内容の工夫が必要であり、そのためにも地域のさらなる協力を得て、園教育の一層の充実を図っていきたいです。

事業名

手をつなごう精華の輪

目 標

人・物・植物等との様々な触れ合いを通して、地域の自然や人々を愛し、自ら活動する子を育てる。

1. 取組の視点

本園は、周囲を山々や田畑に囲まれ、正暦寺や弘仁寺等の歴史的文化遺産も多くあり、四季折々の自然豊かな地域に立地しています。園児4名という少人数がゆえに、他校園との交流を深め、未就園児や地域、各種団体の方々と園行事を通して、いろいろな人々とかかわる力をつけ、心身共に健全で地域の自然や人々を愛し、主体的に活動する子どもを育てたいと考え、取り組みの視点をあげました。

- ① 人、物、動植物との触れ合いを通して、自ら活動する子を育てます。
- ② 多くの子ども達に出会わせ、心身を育てます。
- ③ 地域の自然、人々を愛する子どもを育てます。
- ④ 英語や絵本に親しみ、豊かな情操を培います。

2. 取組の概要

① 保護者の方から野菜の苗や種をいただき、子どもたちと栽培活動をしました。野菜の生長の様子や気付いたことを子ども同士伝え合ったりしていました。保護者の方も関心をもっていろいろアドバイスをしてくださり、家庭と連携して活動を進めていきました。



② 帯解幼稚園や東市幼稚園と共に、正暦寺に園外保育に出かけ、都南中学校地域教育協議会副会長の話を聞いたり、秋の紅葉を感じたりしながら日本の文化に触れ、自分たちの地域のよさを知る機会となりました。そして、三園でのプール遊びや遠足・お別れ会など、たくさんの友達とかかわって



遊ぶ楽しさを味わえるようにしてきました。また、精華小学校の子どもたちと運動会・オペラ鑑賞・秋を楽しもう・音楽会など交流を重ねてきたことで、親しみをもって接するようになり、信頼関係が生まれ人とかかわりを深めてきました。

③ 地域の方々の教育力により、押し花・ケナフ・清澄焼・生け花・絵本の読み聞かせ・田植え・稲刈りなどを経験しました。地域の方の協力を得て、活動することによって経験の幅が広がり、温かく接してもらう喜びを感じることができました。



④ 『ハローキッズ』では、定期的にいろいろな外国の遊びや歌、ゲームを楽しんだりして外国の絵本や英語に興味をもって親しんでいます。外国の遊びを楽しみ、元気に英語で歌い自己紹介や挨拶もできました。



3. 成果と課題

人、物、植物などとの触れ合いを通して、地域の子育て支援や各種団体の方々に多様な体験をさせてもらい、興味関心を広げ、親子で楽しさを共有でき、地域の方に親しみをもって、自らかかわろうとする力がついてきました。

他校園との交流を通して、たくさんの友達とかかわる楽しさを知り、多種多様な経験や感動体験を共に積み重ねていくことで、慣れ親しみ、心身共に育ってきました。今後も、様々な人と触れ合い、自ら活動できる子どもを育てていきたいです。

事業名

かがやく笑顔、心豊かに育ち合う楽しい幼稚園

目 標

**保護者・地域の人々との触れ合い、様々な感動体験をとおして
豊かな心を育てる。**

1. 取組の視点

少子化が進み、入園までの友だちや人とかわる経験が少ない傾向にあります。園児数も減少する中、幼稚園が、地域とのつながり・自然とかわる機会を大切にしたい豊かな体験を積み重ね、一人一人が輝けるようにしていくことが必要であると考えています。本園の地域の方々は、園の取組に協力的で常に温かい支援をいただいています。地域の教育力を生かし、地域に根ざした園づくりに努めていきたいです。

2. 取組の概要

○栽培活動・収穫祭

- ・地域の方の支援を得て、年間を通して野菜の栽培・収穫をしました。
- ・カレーパーティー・ぎょうざピザ・野菜スティック・ぜんざい・みそ汁などで収穫の喜びを味わいました。



○地域の方とのふれあい体験

- ・民生委員さんとの交流会で昔の遊びを教してもらい一緒に遊び、楽しみました。
- ・地域のゲストティーチャーの方を招き、お話の会・親子囲碁教室・ABCで遊ぼう・親子茶道体験・生け花体験をして楽しみました。



- ・親子・地域の方と夕涼み会をし、七夕飾り・ゲーム・盆踊りなどで、楽しく過ごしました。
- ・地域の方に降園の見守りと安全指導をしていただき、守られていることを感じました。

- ・地域の伝統、千本もちつきを地域の方にしていただけ、興味をもってもちつきを楽しみました。



○地域の行事への参加

- ・敬老会で演技をし、地域の方に見ていただき大きな拍手と声援を受け喜びを感じました。
- ・文化祭に作品展示と演技で参加し、多くの方の前で発表する喜びを感じました。

○豊かな心と体を育てる様々な体験活動

- ・体操の先生より親子体操教室・講演会をしていただき、運動の大切さを保護者に啓発できました。



- ・人形劇を観て友だちと楽しさを共有しました。

3. 成果と課題

年間計画に基づき、栽培活動を行ったことで、愛情をもって世話することができ、自然の恵みや感謝する心、食べ物を大切にする事の大切さを感じることができました。

また、地域の人々との様々な触れあいを通して、子どもたちは地域の人々の温かさを感じ、大切にされているという実感をもつことができました。体操教室や人形劇では親子の触れあいや友だちと楽しさを共感することができました。これらの支えが、充実感や自信となり、生き生きと活動する姿や豊かな心の育ちにつながりました。さらに地域の行事に参加したり、地域の伝統“千本もちつき”を経験したりすることで、自分たちの住む町に興味をもち、地域を知り地域のよさに気付くことができました。

今後も地域との連携を密にし、つながりを大切にした感動体験ができるように努めていきたいです。

事業名

地域と共にみんなで 出会い・ふれあい・育ち合い

目 標

地域の方や地域社会と交流を深め、豊かなコミュニケーション力を培う。

地域の豊かな自然や伝統文化、建造物に触れ、自分の町を大切にする気持ちをもつ。

1. 取組の視点

帯解幼稚園は過小規模園で、同年齢の幼児同士のかかわりの広がりが必要であると考えました。少人数の良さを活かしながら地域の方々や近隣園との交流を計画し、心身共に豊かなコミュニケーション力の育成をめざして取り組んできました。

- ・地域の人々、近隣園・小学校との交流を通して人とかかわりを深めてきました。
- ・地域の方々の教育力を十分取り入れながら、帯解校区の自分の住んでいる町を知ること、伝統的日本文化に親しむ機会をもつ中で人の温かさや人を思う優しさを感じるようにしてきました。

2. 取組の概要

○「秋をみつけよう。自分たちの町を知ろう。」
で、地域の方による活動支援

- ・自分たちの町を知る事から始めようと、地域のコーディネーターの方による幼児への保育活動として取り組みました。コーディネーターの方の畑で帯解の秋の自然にふれながら秋の食について話をききました。木の実のにおいや手触りなど直接触れることで様々な思いを感じることができました。その都度、幼児の感嘆の声や疑問に思ったことなどを口々に話すことにたいして、コーディネーターの方が、優しく親切にかかわってくださることに、幼児はうれしさを感じることができました。

身近な自然に触れながら地域の方とのコミュニケーションを図るこ



とができ、人に対する安心感と親しみを感じられる機会として取り組みました。

○日本伝統文化―茶道「初釜」を通して民生児童委員の方とかかわり

- ・茶道の体験として、今年度は「初釜」を1月

に実施しました。茶道初釜の話を聞いたり、初釜にいただく「はなびらもち」の菓子を食べ、お茶のお点前や作法を知る機会になりました。幼少期だからこそ本物に触れる機会としてとりくみました。民生児童委員の方々の優しいかわりや所作に触れ、自分たちから進んでする気持ちが大きく育ちました。



○近隣園との交流での深まり

- ・今年度は、都南中学校区の小規模園（帯解、精華、東市）の交流会を6回行いました。幼児が同年齢の友達とかかわりを通して、集団でのゲーム遊びなどを楽しみました。各幼稚園の教育課程に交流計画を位置づけ、人とかかわりの中で様々な思いに気付く機会となるよう取り組みました。特に正暦寺での交流会には、都南中学校区地域教育協議会副会長の絶大なるご支援により秋の紅葉と正暦寺の良さを感じ日本の文化を知る機会となりました。

3. 成果と課題

地域コーディネーター、民生児童委員、地域教育協議会副会長、帯解地域の方々の絶大なるご支援ご協力により、幼児が出会い、ふれあい、多くの事を学び育つことができました。現代社会では地域の希薄化が叫ばれていますが、都南中学校区では、地域と共に育ち合える取組がされています。このことが、幼児、保護者の安心感につながるので、今後もより深まりが強くなるように取り組んでいきたいと考えます。